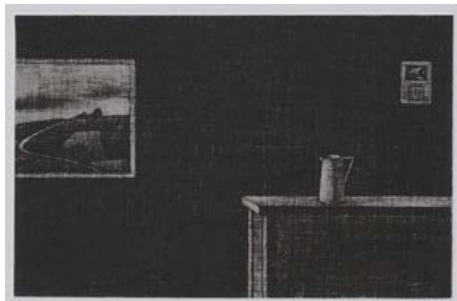


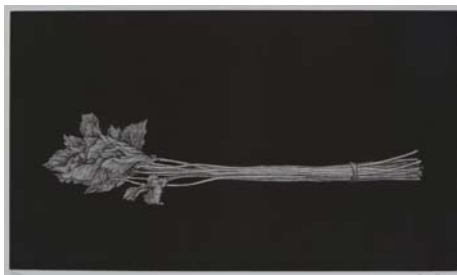
時のきらめき

NIWAKO TAN-AMI

丹阿弥丹波子 銅版画展



《部屋の中》1962年 個人蔵



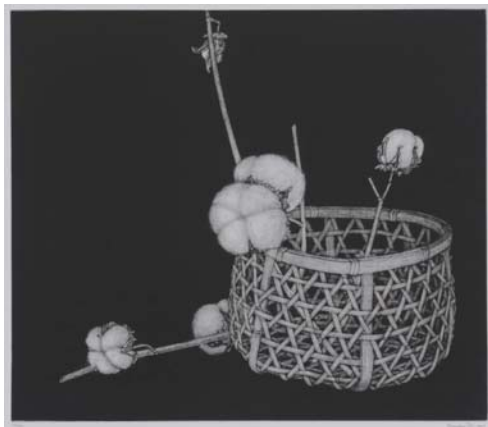
《みつば》2000年 個人蔵



《野の花I》2003年 個人蔵



《白い花》1995年 個人蔵



《わたの実》2002年 個人蔵

丹阿弥丹波子(たんあみ・にわこ)は、1960年頃から50年以上にわたりメゾチントという技法を用いて、野に咲く草花、野菜、日常的に使うグラスなど、身近にあるものをモチーフにした作品を数多く発表しています。静謐な空気を漂わせる一連の作品は、見る者に目の前にない色を感じさせる不思議な力を持ち、描かれたモチーフは、漆黒の闇を思わせるモノクロームの画面の中で、光を纏っているかのように浮かびあがります。作品制作にあたり、「常に心を平静に保とうとするも、自ずと感情の揺らぎが刻みこまれてしまう」という作家の言葉の通り、草花の時々表情、季節の陽の光や風、自身におこる日々の出来事まで、様々な要素が彫り込まれ、日記のように綴られてきました。

本展は、約100点のメゾチント作品に加え、これまであまり紹介されることのなかった初期のエッチング作品なども併せて展示し、作家の画業を辿る本格的な回顧展となります。無限の色彩とストーリーにあふれる丹阿弥丹波子の世界“時のきらめき”をご覧ください。

丹阿弥丹波子 略歴

1927年東京に生まれる。幼児期より日本画家である父(丹阿彌岩吉)の画室で日本画の画材に親しんで育つ。1942年文化学院女学部在学中より木炭デッサンを習う。1954年油彩画で独立展に入選。1956年長谷川潔の作品との出会いがきっかけとなり、駒井哲郎に師事、銅版画を始める。1958年春陽展入選、以降連年出品し、研究賞、岡鹿之助賞を受賞。1971年資生堂ギャラリーで自主企画による個展を開催以降、氷上町立植野記念美術館(現・丹波市立植野記念美術館)、町田市立国際版画美術館など、各地で展覧会を多数開催。また、遠藤周作、芥川喜好などの本の装画も手がける。現在、春陽会会員、日本美術家連盟会員。

関連催事

ゲストトーク

講師：丹阿弥丹波子(銅版画家)、入江 観(画家)、小川 稔(茅ヶ崎市美術館館長)
日時：2015年4月11日(土) 14:00～
会場：茅ヶ崎市美術館 エントランスホール
その他：無料/申込み不要(席数約50席)

ミニコンサート

「ヴァイオリンとチェンバロの調べ モーツァルトの時のきらめき」
出演者：楠山裕子(チェンバロ)、早房あかね(ヴァイオリン)
日時：2015年5月3日(日) 14:00～
会場：茅ヶ崎市美術館 エントランスホール
その他：無料/申込み不要(席数約50席)

実技講座「銅版画メゾチント体験」

内容：丹阿弥丹波子の作品制作に携わったことのある浜西氏を講師に迎え、メゾチントの製版から刷りまで初心者の方も体験できる講座です。
講師：浜西勝則(版画家)
日時：2015年4月9日・16日・23日 いずれも木曜日 13:00～16:00(全3回)
会場：茅ヶ崎市美術館 アトリエ
その他：定員16名(18歳以上の方)/参加費2,500円/持ちもの ポロ布、ゴム手袋

申込み：来館または往復はがきに講座名・氏名・郵便番号・住所・電話番号・年齢を記入のうえ美術館まで。
来館の場合は返信用はがきを持参のこと。
締切3月20日(金)必着。応募者多数の場合は抽選。

ギャラリートーク

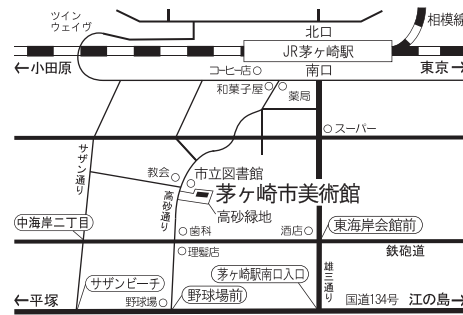
内容：美術館スタッフによる展示作品解説
日時：2015年5月10日(日)、5月23日(土) いずれも14:00～
会場：茅ヶ崎市美術館 展示室
その他：無料(要観覧券)/申込み不要

同時開催

ミュージアム陽三・ヤマサコレクションとの連携

「浜口陽三・丹阿弥丹波子二人展
はるかな符合ー大岡亜紀の詩と共に」
[4月4日(土)～6月30日(火)]

上記の展覧会観覧券の半券を受付にご提示いただくと、一般500円、大学生300円でご覧いただけます。(他の割引との併用不可。1名様一回限り有効)



市立図書館隣り 高砂緑地内
* JR茅ヶ崎駅南口より徒歩8分
* 同駅南口よりコミュニティバス「えほし号」②図書館前下車
* 美術館専用の駐車場はありますが、収容台数が少ないため公共の交通機関等でご来館ください。また、満車の場合は近隣の有料駐車場をご利用ください。



〒253-0053 神奈川県茅ヶ崎市東海岸北1-4-45
TEL 0467-88-1177 FAX 0467-88-1201
http://www.chigasaki-museum.jp